

平成28年度 高校1年生 年間指導計画表

教科目(単位数)	芸術科・書道 (2単位)
年間目標	書道の古典の臨書を通して表現の多様性を学び、それに基づいて自己の表現力を培う。芸術を尊ぶ心を養う。
使用教科書	教育出版『書道1』
使用補助教材	特になし。

学期	区分	単元	内容	目標・留意点
1 学期	前 半	書の芸術性、書の美を求めて。 楷書の学習。	九成宮醴泉銘、孔子廟堂碑、雁塔聖教序の鑑賞と臨書。	三種の古典の比較をとおしてそれぞれの特徴と書法を理解し、楷書の基本的な用筆法を習得する。
	後 半	楷書の学習。	鄭義下碑と牛橛造像記の鑑賞と臨書。	両古典の比較をとおしてそれぞれの特徴と書法を理解し、その表現方法を習得する。
2 学期	前 半	行・草・篆書の学習。	蘭亭序の観賞と臨書。 亭十三跋の鑑賞と臨書。 と行書の比較。 と草書の表現学習。	規範となる行書を生み出した王羲之の書道史上の重要性を理解する。趙孟頫の蘭亭序の学習と態度と成果を理解する。
	後 半	隸書の学習。	隸書の特徴。曹全碑の鑑賞と臨書。 木簡の鑑賞と臨書。	基礎的な隸書の学習により、隸書の特徴を理解し、用筆、運筆、結構法を習得して表現力を高める。
3 学期	半	書道作品制作。	楷書・行書・草書・篆書・隸書・仮名を素材にして、自由に書く。	自分にしか表現できない書作品を制作する。

評価方法	・技術的な向上を心がけて意欲的に授業に臨む姿勢を重んずる。書展の鑑賞を通じてのレポートなど積極的な取り組みを評価する。作品の提出物による技術面の評価を行う。
------	--

学習方法	古典の作品の臨書を中心とし、随時添削指導を行う。
------	--------------------------

注意事項	古典を正確に模倣する忠実な臨書を行うことは大事であるがそれに固執せず、生徒の個性を尊びそれをより良く開花できるようにすることを心がける。
------	--

インフルエンザ等臨時休校になった場合の課題	作品鑑賞によるレポート課題
-----------------------	---------------